

ヲ無視シ現實ヲ他叫スルモノハ頭ヲ何ウ  
カシテ居ル現實主義ハ此現實ヲ見テ道  
ハキモノナリ其道ハ道程ニ於テ夫産主義  
分子ノ策動ヲ檢討セズ道メト云フ意味ヲハ  
識 長 西 尾 未 広

本案ハ先以賛否ヲ廢スル前ニ提案者ノ尚説明  
カ不足ノ觀アリテ其實行方法ノ如キヲ如何ニ  
スルカ中央各員各ニ一任スルカ此考慮ナキハ  
如何ニ提案者ノ意見ハ如何

提案者 大 森 輝 一

中央各員各ハ亦固ハ重大ニシテ激論ヲ生スヘ  
キヲ觀修シ中央各員力ヲ入レスル操ニ聞キタ  
ルニ本大員ハ中央各員ノ拘束ヲ度ケヌ

(此時議長及山内鐵吉外数名ノ幹部及ヒ以壯派ハ演壇ニ押  
シ寄セ騰然タリ)

中央各員 山内鐵 吉

只今ノ提案者ノ說明ハ不都合ナリ中央各員

ハ其ノ対象ヲ考慮セルノミニシテ議場ノ輿  
論ニ壓迫スルモノニアラス大員ハ中央各  
員ノ拘束ヲ度ケヌト云フ意味ハ大員席上  
ニ於テ中央各員各ノ決議形式上ノ干渉ヲ  
度ケヌ意味ニシテ総同盟ノ統制権ニハ絶  
對ニ服従スル意味ト解シヘキモノナリ

(此時山内ハ提案者ト直接ニ指導的暗示的態  
度ニ出ワ)

塚 本 重 藏

本案ハ提案者ニ於テ撤回スル決議事  
未ダトシテ幕ルヘキモノニシテ総同盟  
盟ノ指導精神ノ變更ナキ限リ決議ス  
ヘキモノニアラス(以壯派ハ馬蹄ヲ祭リ各團生ハ場内ニ迫リ)  
又無制限ニ夫産派団体ト提携スルハ何事ソ  
然同盟ノ場力ハ彼等ト提携セストニ立派ニ  
爾本案ニ対抗スルコトヲ得ルモノナリ

(相子能續而亦要論連發騰然タリ)從ワテ總同盟ノ